

『障害者計画H21～23』の進捗状況

1 計画事業実績の一覧(平成21年度～平成22年度実績)

- * 目標数値は、平成23年度又は平成23年度末を記載しています。
- * 目標数値欄のない項目は、計画上目標数値設定のない事業です。
- * 達成率2/3(66%)以上は網掛け表示

※本資料の内容は、今後、地域推進本部、地域推進協議会へ報告する案です。従って、未確定の段階ですが、障害者部会の検討に必要と考え提示するものです。

| | 事業名 | 年度 | 目標数値 (件、人) | 達成数値 (件、人) | 達成率 (%) | 備考 |
|---|------------------------|--|---|------------|---------|-------------------------|
| | | 実施状況 | | | | |
| 1 | 居宅介護(ホームヘルプ) 1-1-1 | 【別表】 「障害者自立支援法上の障害福祉サービス」p18参照 | | | | 平成22年度より、非課税世帯の利用者負担は無料 |
| 2 | 重度訪問介護 1-1-2 | | | | | |
| 3 | 行動援護 1-1-3 | | | | | |
| 4 | 重度障害者等包括支援 1-1-4 | | | | | |
| 5 | 短期入所(ショートステイ) 1-1-5 | | | | | |
| 6 | 短期入所施設の整備 1-1-6 | 短期入所施設(ショートステイ)は、入所施設と合わせ、福祉センターの建て替えの中で整備することとしている。22年度は、「福祉センター等建物基本プラン」を策定し、建設基本設計・実施設計者及び障害者支援施設等の設置運営社会福祉法人の選定を行った。 | 23年度は基本プランを踏まえ、基本設計・実施設計を行う。平成24年度工事着工し、27年4月施設開所予定 ショートステイ10床整備予定 | | | |
| 7 | 療養介護 1-1-7 | 【別表】 「障害者自立支援法上の障害福祉サービス」p18参照 | | | | 平成22年度より、非課税世帯の利用者負担は無料 |
| 8 | 生活介護 1-1-8 | | | | | |
| 9 | 施設入所支援 1-1-9 | | | | | |

| | 事業名 | 年度 | 目標数値 (件、人) | 達成数値 (件、人) | 達成率 (%) | 備考 |
|----|-----------------------------|---|---------------------------|-------------------|--------------------|-----------------------------|
| | | 実施状況 | | | | |
| 10 | コミュニケーション 支援事業 1-1-10 | 22 | 派遣回数 延567回 | 延522回 | 92.1 % | 平成22年度より、非課税世帯 の利用者負担は無料 |
| | | 概ね計画どおりの利用状況である。 | | | | |
| 11 | 日常生活用具給付 1-1-11 | 22 | ①件数1,853件 ②利用者数399人 | ①1,700件 ② 389人 | ①91.7 % ②97.5 % | |
| | | 件数及び利用者数とも概ね計画どおりの利用状況である。 | | | | |
| 12 | 訪問入浴サービス 1-1-12 | 22 | ①利用者数 10人 ②利用回数延1,040回 | ①10人 ②延513回 | ①100 % ②49.3 % | |
| | | 利用者数は計画どおりである。利用回数については、利用者のニーズを踏まえ実施している。 | | | | |
| 13 | 日中短期入所事業 1-1-13 | 22 | ①利用回数108回 ②利用者数 延36人 | ①46回 ②延べ14人 | ①42.6 % ②38.9 % | |
| | | 区独自事業としてより利用しやすい短期保護サービスを実施していることや、本サービスの利用可能な事業所が限られていること等により、想定を下回る利用状況になっていると思われる。 | | | | |
| 14 | 補装具の支給 1-1-14 | 22 | ①交付211件 ②修理126件 | ①157件 ②114件 | ①74.4 % ②90.5 % | |
| | | 交付、修理とも計画件数に達しなかった。利用の多いものとしては補聴器、義肢・装具がある。 | | | | |
| | 緊急一時介護 | 22 | 利用者数 25人 | 22人 | 88.0 % | |

| | 事業名 | 年度 | 目標数値 (件、人) | 達成数値 (件、人) | 達成率 (%) | 備考 |
|----|--------------------------|--|---|---------------------|----------------------------|---------------------------|
| | | 実施状況 | | | | |
| 15 | 委託費助成 1-1-15 | 概ね計画どおりの利用状況である。 | | | | |
| 16 | 重度脳性まひ者介護 1-1-16 | 22 | ①利用世帯数15世帯 ②利用回数延2,160回 | ①13世帯 ②延1,872回 | ①86.7 % ②86.7 % | |
| | | 概ね計画どおりの利用状況である。 | | | | |
| 17 | 短期保護 1-1-17 | 22 | ①利用時間数14,591時間 ②利用者数延628人 | ①14,503時間 ②789人 | ①99.4 % ②125.6 % | 社会福祉法人槐の会に委託して実施。 法外事業 |
| | | 文京藤の木荘、動坂福社会館の2か所で実施している。どちらも利用時間、利用者数ともに増加している。 | | | | |
| 18 | 障害者住み替え 家賃助成 1-2-2 | 22 | ①新規 3件 ②継続 12件 (21～23年度累計) | ①4件 ②1件 | ①133.3 % ②8.3 % | |
| | | 21～22 | ①新規 3件 ②継続 12件 (21～23年度累計) | ①5件 ②2件 | ①166.7 % ②16.7 % | |
| | | 20年度より住環境を改善するための転居を対象要件に加えて実施している。 | | | | |
| | | 22 | ①申請件数24件 ②成約件数 3件 ③相談会 18回開催 (21～23年度累計) | ①6件 ②0件 ③6回開催 | ①25.0 % ②0 % ③33.3 % | |

| | 事業名 | 年度 | 目標数値 (件、人) | 達成数値 (件、人) | 達成率 (%) | 備考 |
|----|----------------------------|--|----------------------------|------------|---------|----|
| | | 実施状況 | | | | |
| 19 | 障害者住宅あっせん 1-2-3 | 21~22 | ①申請件数24件 | ①8件 | ①33.3 % | |
| | | | ②成約件数 3件 | ②1件 | ②33.3 % | |
| | | | ③相談会 18回開催 (21~23年度累計) | ③12回開催 | ③66.7 % | |
| | | 障害者の希望条件に合致する物件は多くはないが、周知等に努め事業を実施していく。 | | | | |
| 20 | 障害者入居支援 1-2-4 | 22 | ①すみかえサポート3件 | ①0件 | ①0 % | |
| | | | ②家賃債務保証制度1件 | ②0件 | ②0 % | |
| | | | ③あんしん入居制度1件 (21~23年度累計) | ③0件 | ③0 % | |
| | | 21~22 | ①すみかえサポート3件 | ①0件 | ①0 % | |
| | | | ②家賃債務保証制度1件 | ②0件 | ②0 % | |
| | | | ③あんしん入居制度1件 (21~23年度累計) | ③0件 | ③0 % | |
| | | 引き続き、サービスの周知等に努め事業を実施していく。 | | | | |
| 21 | 心身障害者自立生活 訓練施設 1-2-5 | 文京藤の木荘、動坂福祉会館の2か所で実施している。22年度実績は動坂福祉会館で実人数2人、延べ19か月であった。 | | | | |

| | 事業名 | 年度 | 目標数値 (件、人) | 達成数値 (件、人) | 達成率 (%) | 備考 |
|----|------------------------------|--|-------------|------------|---------|--|
| | | 実施状況 | | | | |
| 22 | グループホーム・ケアホームの誘致 1-2-6 | 22 | 整備数 2棟(10人) | 0棟 | 0.0 % | 23年度は、開設に向けて事業者と協力して入居者の公募・選定を行っていく。 (定員6人・体験利用1人) |
| | | 21~22 | 整備数 2棟(10人) | 0棟 | 0.0 % | |
| | | 22年度は、区有地を活用して知的障害者グループホーム・ケアホーム(一体型)1棟を整備する事業者を選定し、事業者が建物の建設に着手した。 | | | | |
| 23 | 共同生活介護 (ケアホーム) 1-2-7 | 【別表】 「障害者自立支援法上の障害福祉サービス」p18参照 | | | | |
| 24 | 共同生活援助 (グループホーム) 1-2-8 | | | | | |
| 25 | 入所施設の整備 1-2-9 | 入所施設は、福祉センターの建て替えの中で整備することとしている。22年度は、「福祉センター等建物基本プラン」を策定し、建設基本設計・実施設計者及び障害者支援施設等の設置運営社会福祉法人の選定を行った。 | | | | 23年度は基本プランを踏まえ、基本設計・実施設計を行う。平成24年度工事着工し、27年4月施設開所、入所施設40室予定。 |
| 26 | 福祉施設入所者の地域生活への移行 1-3-1 | 22 | 利用者数 12人 | 3人 | 25.0 % | 22年度は、福祉施設から知的障害者1人、身体障害者2人がケアホーム等に地域移行している。 |
| | | 21~22 | 利用者数 12人 | 6人 | 50.0 % | |
| | | | | | | |
| 27 | 入院中の精神障害者の地域生活への移行 1-3-2 | 医療・社会復帰関係者等で構成される地域精神保健福祉連絡協議会において、精神障害者が地域生活を円滑に営める手段の1つとして、精神障害者ホームヘルパー養成研修を行った。 | | | | |

| | 事業名 | 年度 | 目標数値 (件、人) | 達成数値 (件、人) | 達成率 (%) | 備考 | |
|----|-------------------------------|---|------------|------------|---------|----|--|
| | | 実施状況 | | | | | |
| 28 | 精神障害者社会復帰 促進事業の推進 1-4-2 | 精神障害回復途上者デイケア事業において、利用者個別の目標設定と評価を行うと共に、生活技能訓練などのプログラムを実施し、精神障害者の社会復帰支援を強化している。 実施回数 135回 参加人数 延1,325人 | | | | | |
| 29 | 地域活動支援センター 1-4-3 | 22 | 5か所 | 4か所 | 80.0 | % | |
| | | 動坂福祉会館・文京福祉センター・あせび会支援センターに加えエナジーハウスにおいて、障害特性等に応じた創作的活動の提供等を行うことにより、障害者等の地域活動支援を図っている。 | | | | | |
| 30 | 自立訓練 (機能訓練・生活訓練) 1-4-4 | 【別表】 「障害者自立支援法上の障害福祉サービス」P8参照 | | | | | |
| 31 | 自立支援医療 1-5-1 | 心身の障害を除去・軽減するための医療について、自己負担額を軽減する公費負担医療制度を実施している。 【精神通院】申請・更新1712件 【育成医療】申請11件・認定10件 【更生医療】申請(3～2月)124件 ・継続 じん臓32・免疫52=84件 ・新規 じん臓12・免疫20・肢体4・視1・心1・肝2=40件 | | | | | |
| 32 | 精神保健相談・ 訪問指導 1-5-3 | 【精神保健相談】 実施回数 48回 延人数 100人 【保健師等による面接、相談及び訪問指導】 実人数 1,148人 延人数 3,794人 | | | | | |

| | 事業名 | 年度 | 目標数値 (件、人) | 達成数値 (件、人) | 達成率 (%) | 備考 |
|----|------------------------|---|------------|------------|---------|----|
| | | 実施状況 | | | | |
| 33 | 相談支援体制の構築 1-6-1 | 総合的な支援体制について、地域自立支援協議会では、課題を整理しながら望ましい相談支援体制や相談支援に係るネットワークについて継続的に検討するとともに、今後、新たな福祉センターの相談機能についても検討していく。 | | | | |
| 34 | 相談支援事業 1-6-2 | 22 | 5か所 | 7か所 | 140.0 % | |
| | | 地域生活支援事業における相談支援事業は、身体及び知的障害については障害福祉課、精神障害については、保健サービスセンター(本郷支所を含む)、あせび会支援センター、エナジーハウスにおいて相談支援、情報の提供や助言等を行っている。 指定相談支援事業としては、文京槐の会、あせび会支援センター、トチギ介護サービスが実施している。 | | | | |
| 35 | 専門職の育成・研修 1-6-5 | 特別区職員研修所の専門研修をはじめとした外部研修に積極的に参加するなど、職務に必要な知識やスキルの習得に努めた。また、地域自立支援協議会の相談支援専門部会で事例検討等を行う定例会議を開催し、この中で職員のスキルアップやネットワーク作りに努めた。 | | | | |
| 36 | 地域自立支援協議会の運営 1-6-6 | 地域自立支援協議会内に、従来の相談支援専門部会に加え、就労支援専門部会、権利擁護専門部会を新たに設置し、支援体制等協議を重ねている。 文京区地域自立支援協議会 2回開催 【相談支援専門部会】 2回開催 【就労支援専門部会】 4回開催 【権利擁護専門部会】 2回開催 | | | | |
| 37 | 福祉サービスに関する講座等 1-7-2 | 障害福祉サービスに関する研修会や勉強会等への支援を実施してきた。今後も継続的にこれらの支援を行うとともに、制度改正等の国の動きや区における福祉センター建て替え等の取り組みについても、一層の周知を行い、理解の促進に努める。 | | | | |

| | 事業名 | 年度 | 目標数値 (件、人) | 達成数値 (件、人) | 達成率 (%) |
|----|-----------------------------|--|--------------------------------------|------------|---------------------|
| | | 実施状況 | | | |
| 38 | SPコード(音声コード)の活用 1-7-4 | 文京区基本構想に音声コードを導入した。「障害者福祉のてびき」やわたしの便利帳については、利用者の利便性を勘案し、デイジー版を作成した。今後も情報格差の是正のため、提供情報に合わせた音声化を進めていく。 | | | |
| 39 | ホームページでの情報提供の充実 1-7-5 | 制度改正等の迅速で適確な反映を行うなど、ホームページの適切な運用と情報の拡充を図っている。22年4月からは、心身障害者福祉のてびきをホームページにアップした。 | | | |
| 40 | あんしんサポート 文京への支援 1-8-1 | 「地域福祉の推進計画」 | | | |
| | | 22 | 【福祉サービス利用援助事業】 37件 | 19件 | 51.4 % |
| | | | 【財産保全管理サービス】 43件 | 44件 | 102.3 % |
| | | | 【法律相談】 50件 | 13件 | 26.0 % |
| | | 福祉サービス利用援助事業、財産保全管理サービスを合わせた契約件数は年々増加しているが、引き続き周知を図っていく。 | | | |
| 41 | 成年後見制度の利用促進 1-8-2 | 「地域福祉の推進計画」 | | | |
| | | 22 | 【学習会、講演会の開催】 ①区 2回 ②社会福祉協議会 3回 | ①1回 ②6回 | ①50.0 % ②200.0 % |
| | | 【文京区】 21年度に引き続き、民生委員を対象に成年後見制度に関する講演会を実施し、146人の参加があった。 | | | |
| | | 【社会福祉協議会】 東京都が行っている「成年後見活用あんしん生活創造事業」(成年後見制度利用促進事業)を実施した。23年度も引き続き実施する。 毎月2回、司法書士による個別相談会「成年後見相談」を実施し、34件の相談を受けた。 職員により、随時成年後見制度に関する区民からの相談、問い合わせに対応しており、190件の相談、問い合わせがあった。 | | | |

備考

| | 事業名 | 年度 | 目標数値 (件、人) | 達成数値 (件、人) | 達成率 (%) | 備考 |
|----|------------------------------|--|------------|------------|---------|----|
| | | 実施状況 | | | | |
| 42 | 自立生活のための権利擁護システムの構築 1-8-5 | 地域自立支援協議会に、権利擁護専門部会を21年度より設置した。21年度は3回、22年度は2回の会議を開催し、権利侵害が予想される事例等について、検討を進めている。 | | | | |
| 43 | 災害時要援護者への支援体制の充実 1-9-1 | 「地域福祉の推進計画」 22年度は、引き続き、手上げ方式による災害時要援護者名簿の登録申込みを受け付けた。また、名簿の受領者である民生委員、区民防災組織、警察署及び消防署に対し、21年度に配付した名簿の更新を行った。 | | | | |
| 44 | 利用者負担の軽減 1-10-3 | 障害福祉サービスに係る利用者の負担軽減措置の適用について、22年4月から非課税者については、利用者負担が無料となった。あわせて、区が行う地域生活支援事業についても、非課税世帯については、利用者負担を無料とした。 また、福祉センター児童デイサービスや移動支援(36時間まで)サービス等の利用者負担等について、昨年度に引き続き無料とした。 | | | | |
| 45 | 就労支援センターの充実 2-1-1 | 22 | 就労継続者数 35人 | 59人 | 168.6 | % |
| | | 22年度は地域開拓促進コーディネーターを配置し、支援員の増員を行った。新規就労支援や就労継続支援等の充実を図り、23人が新規に就労し、19年5月の就労支援センター事業開始後の新規就労者は70人となった。 | | | | |
| 46 | 就労支援ネットワークの構築・充実 2-1-2 | 文京区障害者就労支援連絡会議(年2回開催)に加え、地域自立支援協議会就労支援専門部会(年4回開催)において、現状の課題・改善策を検討すると共に、就労支援機関でのネットワーク構築について検討を進めた。 | | | | |
| 47 | 障害者雇用の普及・啓発 2-1-3 | 2月にハローワーク飯田橋と共催により「雇用促進セミナー」をシビック大ホールで開催し、知的・精神障害者の雇用促進に取り組んだ。参加者は、ハローワーク飯田橋管内の事業者を中心に743人だった。また、3月に企画していた「就労支援センター講演会」は、震災のため23年度早期に開催することとした。 | | | | |

| | 事業名 | 年度 | 目標数値 (件、人) | 達成数値 (件、人) | 達成率 (%) | 備考 |
|----|--------------------------|--|------------|------------|---------|----|
| | | 実施状況 | | | | |
| 48 | 就労支援者の育成 2-1-4 | 区内施設職員等を対象に、「就労支援者研修会」を年5回開催した。講師は現に障害者雇用を行っている企業の担当者を中心に行った。 | | | | |
| 49 | 就業先企業への支援 2-2-1 | 障害者を雇用する企業等からの相談に対し、定期訪問や電話にて対応し、対象者本人及び家族との連絡調整や問題解決に努めた。 | | | | |
| 50 | 安定した就業生活への支援 2-2-2 | 職場訪問で、就業中の障害者の様子を伺うとともに、電話や面談などで個別の支援を行った。また、情報交換や仲間づくりを行う「たまり場」を5月～3月の計11回開催し、講座やレクリエーション等を実施した。加えて、就業継続意欲向上を目的として、就労継続者を表彰する祝う会を4月に行った。 | | | | |
| 51 | 福祉施設から一般就労への移行 2-3-2 | 22 | 就職者数 5人 | 8人 | 160.0 % | |
| | | 22年度は福祉施設及び精神障害者就労支援施設からの、一般就労への就職者は8人だった。地域開拓促進コーディネーターによる施設への訪問等は延べ33回行った。 | | | | |
| 52 | 区の施設における就労機会の拡大 2-3-3 | 区役所庁舎内において、障害者がシュレッダー業務や、コピー、封入・封緘等の業務を行うなどインターンシップ事業を実施した(39日間、延122人参加)。また、「障害者就労庁内検討会」における検討をふまえ、庁内業務量調査を行った後、臨時職員として直接雇用の試行を行った(2人、8日間) | | | | |
| 53 | 就労移行支援 2-3-4 | 【別表】 「障害者自立支援法上の障害福祉サービス」p18参照 | | | | |
| 54 | 就労継続支援 2-3-5 | | | | | |
| 55 | 福祉施設等での仕事の確保 2-3-6 | Bunkyoアンテナスポットにて、「障害者施設自主製品販売会」を年3回(計24日)実施し、物品販売の機会を提供した。また、工賃増加のための販路拡大について個別企業との橋渡しや、「ステージ・エコ」での出店調整などを行った。 | | | | |

| | 事業名 | 年度 | 目標数値 (件、人) | 達成数値 (件、人) | 達成率 (%) |
|----|------------------------|---|------------|------------|---------|
| | | 実施状況 | | | |
| 56 | 療育相談の充実 3-1-2 | 22年度の新規相談件数は104件だった。23年度は他機関連携を図り、相談・指導方法の工夫により増加する相談件数に対応していく。 | | | |
| 57 | 発達に関する情報の普及啓発 3-1-5 | 子どもの発達の遅れを早期に発見し、適切な療育につなげるため、保健サービスセンターでの発達健診の立会いを行っている。22年度 受診総人数 147人、福祉センター紹介人数 16人 | | | |
| 58 | 保育園障害児保育 3-2-1 | 心身の発達に遅れがあることなどによって保育の際に特別な配慮を要する児童を22年度において、23人受け入れた。 | | | |
| 59 | 幼稚園特別保育 3-2-2 | 区立幼稚園における特別保育のための臨時職員、並びに非常勤講師を配置した。 支援の充実を図るため、特別保育認定の他、特別支援の認定を行い、個に応じた支援を図った。 | | | |
| 60 | 就学前相談体制の充実 3-2-3 | 就学相談員のほか、幼稚園OBの非常勤職員を増員し就学前からの継続的相談体制の充実を図った。 就学先の振り分けのためではなく、より個に応じた支援を判断できるよう、在籍校(園)における行動観察を導入する等、就学相談委員会の運営改善を図った。 | | | |
| 61 | 児童デイサービスの充実 3-2-4 | 【別表】 「障害者自立支援法上の障害福祉サービス」p18参照 | | | |

備考

| | 事業名 | 年度 | 目標数値 (件、人) | 達成数値 (件、人) | 達成率 (%) | 備考 |
|----|---------------------|---|------------|------------|---------|----|
| | | 実施状況 | | | | |
| 62 | 教育相談の充実 3-3-1 | <p>いじめや不登校、障害、集団不適応等の幼児・児童・生徒の問題行動および教育・生活上の悩みに対する予防・発見・解消に向けて総合教育相談体制をとっている。22年度は9事業行った。</p> <p>①教育相談室 面接延べ回数6,311回、電話相談回数138回、いじめ電話相談19回</p> <p>②子育て支援カウンセラー派遣 幼稚園述べ相談件数767件 保育園述べ相談件数871件</p> <p>③スクールカウンセラー 相談延べ回数 小学校5,660回 中学校6,456回</p> <p>④適応指導教室 在籍者数8名</p> <p>⑤メンタルフレンド派遣 派遣件数3件</p> <p>⑥中学校ふれあいサポーター派遣 派遣件数8件</p> <p>⑦スクールソーシャルワーカー 面接延べ回数825回</p> <p>⑧巡回相談員派遣 派遣回数120回</p> <p>⑨育成室等巡回相談員派遣 相談延べ件数124件</p> | | | | |
| 63 | 特別支援教育の充実 3-3-2 | <p>区立全小・中学校に特別支援教育支援員やバリアフリーパートナーを配置し、教育上特別の支援を必要とする児童・生徒に対して、障害による学習上または生活上の困難を克服するための教育を継続して行なっている。</p> <p>また、特別支援教育の推進に向けて、教員の指導力向上、区の支援体制の整備等を進めていく。</p> | | | | |
| 64 | 特別支援子育て事業 3-3-3 | <p>区報、ホームページ等で事業に関する周知を行った。22年度の登録者数は18人、利用者数は延133人である。</p> | | | | |
| 65 | 育成室への障害児受入 3-3-4 | <p>22年度については、育成室において59人の障害児の受入れを行った。23年度は、22年度同様の受け入れを予定している。</p> | | | | |

| | 事業名 | 年度 | 目標数値 (件、人) | 達成数値 (件、人) | 達成率 (%) | 備考 |
|----|----------------------------|--|------------|------------|---------|--------------------------------|
| | | 実施状況 | | | | |
| 66 | バリアフリーパートナー 運営 3-3-5 | 特別な支援を要する児童・生徒一人一人がニーズに応じた教育を受けることができるようにするため、障害者への支援について興味関心のある大学生や社会人等の協力を得て児童・生徒へのサポートを行った。 バリアフリーパートナーに対し、NPO法人と連携してスキルアップのための研修を実施した。 | | | | |
| 67 | 個に応じた指導の充実 3-3-6 | 通常の学級及び特別支援学級における支援を必要とする児童・生徒に対する特別支援教育のあり方や指導の実際について教員等研修を実施するとともに、特別支援教育支援員を配置し、個への対応の充実を図っている。 【特別支援教育研修会(全教員対象)】 年6回開催 【特別支援教育コーディネーター研修(コーディネーター対象)】 年6回開催 【特別支援教育コーディネーター養成研修】 夏期集中6回開催 【全小・中学校に特別支援教育支援員(非常勤)を配置、研修実施】 年6回開催 | | | | |
| 68 | 放課後の居場所対策 3-3-7 | 22 | 2か所 | 1か所 | 50.0 % | 平成23年7月に、本郷福祉センターに定員7名で1か所新設予定 |
| | | 20年7月より中・高生の放課後の居場所対策事業を社会福祉法人に委託し事業開始した。22年度事業実績は定員5人に対し、延べ利用人数1,446人、利用率では98.4%であった。 | | | | |
| 69 | 多様な支援機関との 連携 3-4-1 | 平成22年度、教育指導課、教育センター、福祉センター、特別支援学校、学識経験者等で構成される特別支援教育連携協議会を設置した。 | | | | |
| 70 | 継続支援体制の充実 3-4-2 | 就学支援ファイル、就学支援シートの活用・推進を図り、就学前の効果的な支援方法等を個別指導計画作成に活かす等支援の継続を図った。 | | | | |

| | 事業名 | 年度 | 目標数値 (件、人) | 達成数値 (件、人) | 達成率 (%) | 備考 |
|---|-----------------------|---|------------|------------|---------|----|
| | | 実施状況 | | | | |
| 71 | 専門的療育訓練の充実 3-4-3 | 22年度実績として、理学療法595回、作業療法541回、言語療法902回の専門的療育訓練を実施した。 | | | | |
| 72 | 個別の支援計画の作成 3-4-4 | 通常の学級における、特別な支援が必要な児童・生徒について幅広く捉え、個別指導計画を作成する。 保護者の理解を深めるとともに、学校・幼稚園が教育、医療、福祉等の関係諸機関と連携して、幼稚園から小・中学校まで一貫した支援を実施するために、個別の教育支援計画の作成を目指す。 | | | | |
| 73 | 専門家による巡回相談事業 3-4-5 | 福祉センターの公立保育園への精神科医・臨床心理士等の派遣は計14回である。 【子育て支援カウンセラーによる巡回相談】 月1回、幼稚園・保育園に訪問 園児の行動観察 【教員・保育士とのコンサルテーション、保護者相談】 | | | | |
| 74 | 道のバリアフリーの推進 4-1-2 | 「地域福祉の推進計画」 | | | | |
| | | 22 | 600件 | 191件 | 31.8 | % |
| 21~22 | 500件 | 83.3 | | % | | |
| 道路工事に合わせて可能な限り歩道の拡幅、段差解消、勾配の改善等を行うとともに、通行に支障となる電柱の移設など各管理者へ要請してきた。 また、段差、勾配等の障害を重点的に改善すべき箇所については、個別的に整備を進めた。 | | | | | | |
| 75 | 公園のバリアフリーの推進 4-1-3 | 「地域福祉の推進計画」 | | | | |
| | | 22 | 18か所 | 0か所 | 0.0 | % |
| 21~22 | 13か所 | 72.2 | | % | | |
| 22年度は、実績なし。以降の改修は、公園全体の大規模改修時に合わせて行う。 | | | | | | |

| | 事業名 | 年度 | 目標数値 (件、人) | 達成数値 (件、人) | 達成率 (%) | 備考 |
|--|------------------------------------|--|----------------------------------|-----------------------|----------------------|----|
| | | 実施状況 | | | | |
| 76 | トイレのバリアフリーの推進(だれでもトイレづくり) 4-1-4 | 「地域福祉の推進計画」 | | | | |
| | | 22 | 3か所 | 0か所 | 0.0 | % |
| | | 21~22 | | 1か所 | 33.3 | % |
| 22年度は実績なし。以降の設置及び改修は、公園全体の大規模改修時に合わせて行う。 | | | | | | |
| 77 | 総合的自転車対策の推進 4-1-6 | NPOや地域団体と協働しながら、自転車駐車場の整備・放置自転車の撤去・レンタサイクル事業等、総合的な自転車対策を実施している。 平成22年度に駐輪場2箇所、(千石南、護国寺駅西)を設置した。 | | | | |
| 78 | 移動支援 4-2-3 | 22 | ①利用時間数 43,111時間 ②利用者数 延1,872人 | ①46,464時間 ②延2,145人 | ①107.8 % ②114.6 % | |
| | | 利用時間、利用延人数とも増加している。また、サービス提供事業者も増加傾向にあり、利用者の選択肢が広がっている。 | | | | |
| 79 | 福祉有償運送事業への支援4-2-4 | 「地域福祉の推進計画」 文京区には、福祉有償運送事業を行う事業者がないため、実績なし。 | | | | |
| 80 | 心のバリアフリーの推進 4-3-2 | 12月に「ふれあいの集い」を開催し、通所施設の利用者や特別支援学校等の生徒が作成した作品、区内障害者等からの応募作品など、1,876点を展示した。一般区民等3,184人の来場者があり、障害者に対する理解や認識を深める心のバリアフリーを図る機会となった。 | | | | |

| | 事業名 | 年度 | 目標数値 (件、人) | 達成数値 (件、人) | 達成率 (%) | 備考 | |
|---|------------------------------|---|--|---|--|----------------------------|--|
| | | 実施状況 | | | | | |
| 81 | 情報のバリアフリーの推進 4-3-4 | <p>障害者の社会参加を支援する一助としてパソコン教室を開催している。21年度および22年度はパソコン教室を開催し、それぞれ26人、29人が参加した。23年度も引き続きパソコン教室を開催する予定である。</p> | | | | | |
| 82 | ボランティア・市民活動センターへの支援 5-3-1 | <p>「地域福祉の推進計画」 ボランティア・市民活動まつり2010を11月20日に実施した。実施に当たっては、11人の運営メンバーによる運営会議を開催し、企画運営を行った。当日は2,100人の来場があった。 また、ボランティア・NPO団体によるボランティア連絡会(3回・延122団体)、学生ボランティア連絡会(2回・延45人)、企業ボランティア連絡会(2回・延16人)を行い、それぞれネットワークの強化を図った。 また、文京区災害ボランティアセンターマニュアルを策定した。策定に当たっては、策定委員会(4回・委員5人)、作業部会(4回・部会員7人)を開催した。1,000部作成。</p> | | | | | |
| 83 | ふれあいいいききサロン事業への支援 5-3-3 | 「地域福祉の推進計画」 | | | | | |
| | | 22 | <p>【ふれあいいいききサロン事業】</p> <p>①高齢者サロン 40か所 ②子育てサロン 8か所 ③障害者・児サロン9か所 ④混合型サロン 17か所</p> | <p>①44か所 ②9か所 ③6か所 ④8か所</p> | <p>①110.0 ②112.5 ③66.7 ④47.1</p> | <p>% % % %</p> | |
| <p>22年度末現在、サロン67か所、参加者数30,042人である。サロン数と参加者数は増加している。今後とも住民主体のサロン活動を支援していく。</p> | | | | | | | |

| | 事業名 | 年度 | 目標数値 (件、人) | 達成数値 (件、人) | 達成率 (%) | |
|----|---|--|--|----------------|----------------|--------|
| | | 実施状況 | | | | |
| 84 | いきいきサービス事業 (住民参加型在宅福祉 サービス)の充実 5-3-4 | 「地域福祉の推進計画」 | | | | |
| | | 22 | 【いきいきサービス事業】 ①利用会員 750人 ②協力会員 350人 | ①312人 ②145人 | ①41.6 ②41.4 | % % |
| | | 利用時間は、家事援助9,546時間、介護援助2,567時間、大掃除等1,073時間となっている。今後とも会員募集に努める。 | | | | |
| 85 | ファミリーサポート センター事業 5-3-5 | 「地域福祉の推進計画」 22年度の会員数は、提供会員数221人、依頼会員数1,896人、両方会員数36人である。全戸配布の文社協だよりや区設掲示版等を活用したPRを行ったが、今後とも男性を含む提供会員の増加に努める。 | | | | |
| 86 | 当事者及び家族の 交流への支援 5-3-8 | 当事者や家族が交流を広げ、情報発信を行う機会を増やし、相談に応じるなどきっかけ作りの支援を行うため、障害者団体へのバス借り上げ事業や行楽地への日帰りバス旅行等を実施している。また、障害者の社会活動を促進するため、障害者会館を集会の場として提供している。 | | | | |

備考